

CSR レポート 2020

大きな変化に備える
自ら変化する



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



CONTENTS

I. Top Message 社長のメッセージ	1
II. 河内長野ガスグループの CSR 活動に関する考え方	2
III. 安心・安全への取り組み	4
IV. 快適な生活をご提案	7
V. 環境への取り組み	9
VI. 地域貢献の取り組み	10
VII. 働きやすい職場づくり	16
VIII. コンプライアンスへの取り組み	17
1. コンプライアンス会議	
2. コンプライアンスアンケート	
3. コンプライアンス研修会	
4. コンプライアンス相談窓口	

I. Top Message 社長メッセージ——Think globally、Act locally——

平素は河内長野ガスグループにご支援・ご協力いただき誠に有難うございます。

さて、この程、弊社による CSR（企業の社会的責任）活動報告としては 4 冊目にあたる CSR レポート 2020 を作成いたしましたので是非ご一読下さいますようお願い致します。

弊社では昨年、2019 年度を初年度とする中期 3 力年計画（'19～'21）を作成し、その基本方針を「地域と共に成長を目指す」としました。

即ち自社の成長のみならず地域の活性化に繋がる事業の方向性を見出していくことにチャレンジしていきたいと考えております。

昨年 12 月に中国で突然数人の新型コロナウイルスの罹患が発見され、その後、年明けには一挙に世界中に拡がり多くの犠牲者が出ています。そんな中、自社の成長のみならず地域の活性化に繋がる事業の方向性を見出していくということは、地域の中小企業にとっては大変な事ではありますが、弊社は SDGs への取り組みを通じて、地域の課題解決に繋げていきたいと考えております。まさしく Think globally, Act locally（シンク・グローバリー アクト・ローカリー）（地球規模で考え地域の規模で実践する）です。

引き続き皆様のご指導よろしくお願い致します。

2020 年 6 月 4 日



河内長野ガス株式会社
株式会社リビングセンター長野
代表取締役社長

山本明彦

Ⅱ. 河内長野ガスグループの CSR 活動に関する考え方

河内長野ガスグループは、「地域の活性化に貢献する企業グループ」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーの安定的かつ安心して安全にお使いいただくことを通して社会的責任を全うし、地域の活性化に貢献していきたいと考えています。

「私たちの約束(行動指針)」に基づいて活動し、当社の業務が持続可能な開発目標(SDGs)のどの目標に合致しているかを理解し、社内外に周知すると共に SDGs に沿って行動目標を策定します。コンプライアンスを徹底し、地域貢献活動を通じて、お客さま・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼され、選択される企業グループを目指します。

経営理念体系

◎経営理念

地域の活性化に貢献する企業グループ

◎長期ビジョン (あるべき姿)

- 1 地域のお客さまの笑顔ナンバーワン企業
- 2 地域のお客さまに最も信頼され、支持される企業

◎私たちの約束 (行動指針)

- 1 私たちはお客さまの安心・安全を第一に行動します。
- 2 私たちはお客さまに健康で快適な生活をご提案します。
- 3 私たちは住みよく、誇りの持てる街づくりに貢献すると共に、緑にあふれたこの街を未来の子供たちに残します。
- 4 私たちは思いやりと切磋琢磨が交差した働き甲斐のある企業をつくります。
- 5 私たちは法令を遵守し高い倫理観を持って、社会人として責任ある行動をとります。

◎中期計画 基本方針

地域と共に成長を目指す

◎2020 年度 スローガン

大きな変化に備える 自ら変化する

SDGs のゴール

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 貧困をなくそう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 2 飢餓をゼロに | 11 住み続けられるまちづくりを |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 12 つくる責任 つかう責任 |
| 4 質の高い教育をみんなに | 13 気候変動に具体的な対策を |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 14 海の豊かさを守ろう |
| 6 安全な水とトイレを世界中に | 15 陸の豊かさを守ろう |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16 平和と公平をすべての人に |
| 8 働きがいも経済成長も | 17 パートナーシップで目標を達成しよう |
| 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | |

SDGs への貢献

SDGs は 2015 年 9 月に国連で採択された 2030 年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための国際社会共通の目標として、17 のグローバル目標（ゴール）・169 のターゲット（達成基準）が設定されています。河内長野ガスグループは、事業活動を通じてこれらの課題解決に貢献する取り組みを進めていきます。



河内長野ガスグループ

2020 年度の SDGs への新たな取り組み

河内長野ガスグループでは、2020 年度から新たな取り組みとして、全社横断組織である SDGs 部会を発足させました。SDGs への取り組みを部会から全社に広げていきたいと思ひます。

Ⅲ. 安心・安全への取り組み

私たちの約束 1「私たちは、お客さまの安心安全を第一に行動します。」



1. 防災についての取り組み

私たちは、災害の発生に備え、河内長野市と協力関係を築くなど様々な対策を実施しています。

① 「災害時支援施設」について

河内長野ガスグループは、当社社屋の建て替えに先立ち、2012年5月に河内長野市と「災害時等における支援協力に関する協定」を締結しました。災害発生時には、河内長野市の要請を受け、「災害時支援施設」であるショールームや災害ベンチ、災害時用簡易トイレ（マンホールトイレ）等の設備を貸し出しすることで、被災者の支援を行う市の職員やボランティアの方々の活動拠点として社屋の一部を活用していただきます。



締結式の様子



マンホールトイレ



社屋見学の様子



災害ベンチ



社屋見学の様子



防災セミナー様子

過去の見学者様一覧

2015年5月	河内長野地域連携防災まちづくり講座様
2016年2月	河内長野地域学講座様
2016年7月	河内長野地域連携防災まちづくり講座様
2017年4月	日韓交流センター様
2017年9月	河内長野市長、副市長様
2018年2月	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科ゼミ生様
2019年9月	NPO法人 たすけあい様
2019年9月	大阪ガス主催防災研修システム会様

② 地震・災害への対策

私たちは、地震・災害に対するより一層の安全性の向上を目指して、さまざまな安全対策を講じています。

1) 耐震性の高いガス導管

道路に埋設されている低圧ガス導管は、耐震強度に優れたポリエチレン管を採用しており、大規模地震による被害を最小限にとどめるように対策をしています。

河内長野ガス 耐震化率 98.5% 2019年12月末実績

全国平均 耐震化率 89.5% 2018年12月末実績



ポリエチレン管への取替作業の様子

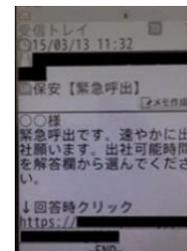
2) 緊急動員体制

供給区域内で震度5弱以上の地震が発生した場合は休日夜間でも全社員が自動出社することを規定しています。また地震以外の災害発生時には、携帯メールによる緊急呼び出しシステムで出社の要請をいたします。

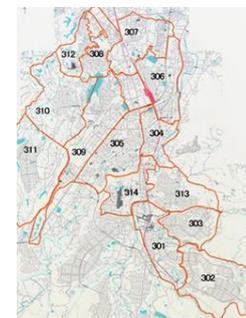
3) 地震発生時の緊急対策

大規模な地震により被害が発生した場合は、当社の保安規程に定める「地震災害対策要領」に基づき、対策本部を設置して情報を収集・集約し、迅速かつ適切な措置を実施します。

その際、二次災害の防止のため、やむを得ない場合はお客さま宅のガス供給を停止することがあります。当社では供給区域をブロック化することにより、より細かく供給停止範囲を制限できるようにしています。



域緊急呼び出しメール



ブロック化された供給区域

4) 教育・訓練

河内長野市が大きな被害を受けると想定される地震や異常気象に備え、全社員による訓練を実施しています。また、ガス漏れ等の緊急時対応に備えて、訓練施設等で実技教育を定期的に行っています。



実技教育の様子

2019年度実績

10月1日 全社地震訓練

訓練用の地震速報が発報後、全従業員は身を守るために机の下に潜り、災害対策本部が設置されている4階ホールに参集しました。点呼の後、各隊から選ばれた発表者が活動報告を行い、全社で情報共有をしました。



地震訓練の様子

2. 保安体制について

私たちは、都市ガスを供給する企業として、お客さまの安心・安全に向けた取り組みをしています。

安心・安全の保安体制

私たちは、お客さまから緊急通報があれば迅速に対応できるよう出動体制を常に整えているとともに、日々、都市ガスの安定供給とガス導管の維持管理に努めています。

1) 365日・24時間の緊急出動体制

お客さまが安心してガスをお使いいただけるよう、ガス漏れや火災等の緊急事態に備えて、いつでも緊急車両で出動できる体制を整えています。



緊急車

2) 都市ガスの安定供給と監視システム

お客さまに安定したガスをお届けするために、都市ガスの受入設備や河内長野市内に設置しているガス整圧器を通信システム（テレメーター）で常に監視しています。



供給管理センター

3) ガス導管の維持管理

お客さまに安全にガスをお届けするために、定期的にガス導管のガス漏れ調査を実施しています。

また、他工事（水道、下水、電気、電話工事）などによるガス管の破損防止のため、他工事業者との事前の工事打合せや工事現場での立会・パトロールなどを行っています。



地中のガス管をカート式ガス検知器を使って、異常がないかを調査します

IV. 快適な生活をご提案

私たちの約束 2「私たちはお客さまに健康で快適な生活をご提案します。」



1. 快適な生活をご提案

私たちは、関係会社である株式会社リビングセンター長野とともにお客さまに快適な生活をお送りいただくための取り組みをしています。

① リフォームのご提案

株式会社リビングセンター長野は、40年にわたりリフォームを通してお客さまの「理想をカタチに 快適に住まう空間創り」を実現してきました。

河内長野を中心に、施工担当者と女性コーディネーターがペアとなって、キッチン、浴室、トイレからバリアフリーリフォーム、耐震補強工事に至るまで、お客さまのご要望にお応えしています。

お客さまから信頼され、ご相談いただく中で、私たちの手掛けるリフォームは、様々な賞をいただくことができました。これからも「家じゅうまるごとサポート」を合言葉にお客さまのライフスタイルに合わせ、培ったノウハウを活かして理想の空間創りをご提案いたします。

(施工実績 15,775 件)



過去の受賞歴

2014年2月	T D Y リモデルスマイル作品コンテスト2013 ブロック別部門 優秀賞
2014年5月	全国トクラスリフォーム選手権 エリア版 最優秀賞
2018年11月	クリナップリフォーム 水まわり工房 スタートダッシュコンテスト2018 クリナップ賞
2019年12月	ジェルコリフォームコンテスト2019 近畿大会 ベストリフォーム賞

② ガス機器を通じた快適な暮らしのご提案

河内長野ガスグループは、お客さまの生活を快適にするガス機器のご提案をしています。エネルギーを使う生活から、つくる・トクする生活を実現する「エネファーム」をはじめ、寒い冬を快適に過ごすことができる床暖房やファンヒーター、毎日のお料理を楽しくするガラストップコンロ、ガスのパワーで短時間で衣類を乾燥させる衣類乾燥機まで、幅広いラインナップをご用意しています。

また、電気とガスのセットで、おトクになるガス料金メニュー等を提案し、お客さまの経済面もサポートいたします。



マイホーム発電
「エネファーム」



最新型ガラストップコンロ

③ 暮らしの情報発信基地「Crassimo (クラッシモ)」

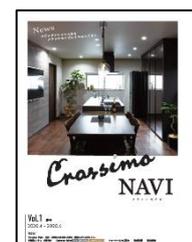
河内長野ガスグループショールーム クラッシモでは、最新のガス機器やキッチン、トイレ、浴室、ガスの安全機器など、お客さまの安心・安全で快適な生活を支える商品を取り揃え、展示しており、毎年恒例のガス展では会場として多くのお客さまにお越しいただいています。ショールーム内において、ヨガ、書道、手芸教室等の文化教室「クラッシモサロン」をはじめ、ファミリーデー等の様々な楽しいイベントを開催し、地域に開かれたショールームを目指しています。



ショールーム「クラッシモ」館内

④ 暮らしの情報誌「Crassimo NAVI (クラッシモ ナビ)」

情報誌「リビングフレッシュ」を刷新し2020年4月より「Crassimo NAVI」を年4回発行する事になりました。最新設備を取り入れたリフォームをご紹介するページや、快適で便利なガス機器紹介、クラッシモサロンの募集、地域のお洒落で美味しいお店紹介のコーナーなど盛りだくさんの内容となっており、生活に彩を添える情報誌として読者の方から大変好評をいただいております。



「クラッシモ ナビ」

V. 環境への取り組み

私たちの約束 3 「私たちは住みよく、誇りの持てる街づくりに貢献すると共に、緑にあふれたこの街を未来の子供たちに残します。」



省エネ・環境性を配慮した社屋

私たちは、エネルギー供給会社だからこそ、エネルギーを大切に使うことの重要性を理解しています。2014年に竣工した社屋には、省エネ、環境面の配慮が施されています。

この社屋は、2014年に「コージェネ大賞」民生用部門 優秀賞、「BCAO アワード 2014」企業防災部門 企業防災賞、「第8回大阪サステナブル建築賞」優秀賞を受賞いたしました。

① 自家発電

社屋屋上に20kwの太陽光パネル及び35kwのガスコージェネレーションシステムを2台設置し、自家発電により社屋で使用する全電力の約1/3をまかっています。



② 河内材の使用について

河内長野市は豊かな森林に恵まれ、古くから河内林業地として木材を生産してきました。河内長野ガスグループでは、新社屋を建設する際に、この地場産の河内長野杉を床面や壁面に用い、木の温もりを感じる空間に設えました。



河内材のシンボルマーク



社屋内の様子

③ 省エネを実現する機能

セミナー室や風除室は、ペレット式空調で冷暖房をしています。これは間伐材を利用した木質ペレットを燃焼させる空調機です。森林資源の循環ができ、カーボンニュートラルで地球温暖化防止に貢献するシステムです。

また、外壁にひさしを設けて視界を確保しながら日射を抑制しています。

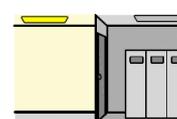
更に入感センサーにより人を感知すると照明を点灯・ファンを稼働、人がいない場合は自動的に照明を消灯・ファンを停止することで、省エネを図ります。



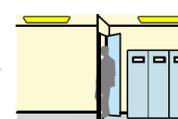
ペレット式空調屋外機



ひさしによる日射抑制



不在時照明OFF



在室時照明ON

VI. 地域貢献の取り組み

私たちの約束 3 「私たちは住みよく、誇りの持てる街づくりに貢献すると共に、緑にあふれたこの街を未来の子供たちに残します。」



1. 次世代育成の推進

将来を担う子ども達を環境面において教育していくことが、私たちの社会的責任と考え、長年にわたり地道な次世代育成活動を行っています。

① 「小学校出前教育プログラム」

ガスの供給を通じて地域にかかわる会社として、2006年度より地域で学ぶ次世代の育成に貢献するため、河内長野市教育委員会と連携し、河内長野市内の各小学校を対象に地球温暖化問題を中心としたエネルギー環境教育を行い、2019年度まで延べ59の小学校に127回の授業を行いました。2020年度からは“和食だし”体験講座が新たなプログラムとして加わります。

このプログラムは、大阪府からその功績が称えられ、2016年度「おおさか環境賞 準大賞」を受賞しました。

プログラム

「A：地球温暖化を学ぶ」

地球温暖化の影響や地球温暖化のしくみについて学ぶ。

「B：くらしの見直し隊」

二酸化炭素（CO2）排出量を削減することについて、ゲーム形式で楽しく学ぶ。

「C：ガスコンロのしくみ、燃焼のふしぎ」

マッチ、ろうそく、ガスコンロの炎の観察と食材をつかった燃焼実験（あぶり）を通じて燃焼に必要な条件、燃え方の違い、火の色々な役割を学ぶ。

「D：“和食だし”体験講座」

和食の味の決め手となる滋味豊かな本物の“だし”について、味覚体験を通じて理解を深め、和食の魅力を次世代に伝承できるよう、ガス火を使って料理する楽しさを体験しながら学ぶ。



5年生の授業風景



6年生の授業風景



② 河内長野市立林業総合センター木根館主催「放課後子ども教室」の運営に参加

河内長野ガスグループは、2020年度から河内長野市から委託され河内長野市立林業総合センター「木根館（きんこんかん）」様が実施する「放課後子ども教室」の運営に参加します。

この教室は、森林 ESD[i]の考えに基づく活動であり、木根館様が中心となり、保護者の皆さまの協力によって成り立っています。参加を希望した子ども達は、まず紙芝居などで河内長野市の林業についての説明を受け、後半は杉とヒノキの木片を使ってキーホルダーを作ります。

河内長野ガスグループからの参加スタッフは、工作で使われる道具や材料の用意等の事前準備、出席確認、子ども達の工作のお手伝い、教室が終わった後の片付け等をいたします。

なお、2020年度は、コロナウィルスの影響で、教室の開始が延期されています。



木片を使ったキーホルダーづくり

[i]森林 ESD（Education for Sustainable Development）は ESD（現代社会の課題を自らの問題として捉え、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出し持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動）の考えに準拠し、課題を森林に関するものに置き換え、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育です。

③ 「職場体験学習」

河内長野ガスグループは、中学生の「職場体験学習」を受け入れています。定期保安巡回（各ご家庭のガス管やガス機器の点検作業）やガスマイコンメーターの取替作業等ガス会社の様々な仕事を体験していただきました。

2019 年度実績

7月4日～5日

東中学校 男子中学生 2名

11月7日～8日

加賀田中学校 男子中学生 2名



実習をする中学生

2. 地域振興

私たちは、市内で開催される地域振興イベントに協賛やブース出展をしています。また、2018年度に、従業員の自主的な地域貢献活動を表彰する制度を創設し、2019年度は該当者2名を表彰しました。

① イベントへのブース出展

市内で開催されるイベントでは、CSR活動やガスの安心・安全に関する事項、地球温暖化等の紹介パネルを展示しています。

2019年度実績

5月12日（日）「第27回河内長野市民まつり」

- ・緊急車の展示及び緊急車に積み込まれた装備品の説明
- ・ガスの安心・安全機器の展示



市民まつりでの出展

② 「自衛消防隊部会 視閲式・消火技術錬成会」への参加

河内長野市防火協会自衛消防隊部会の視閲式並びに消火技術錬成会が、河内長野市小山田町の河内長野市消防本部屋外訓練場において開催され、錬成会では市内の各事業所が参加し、日ごろから積み重ねた訓練の成果を披露します。

2019年度、河内長野ガスは、屋内消火栓競技の部で準優勝という成績を取ることができました。



錬成会の様子

③ 地域活性化ムービー「鬼ガール！！」への協賛

河内長野ガスグループは、河内長野を舞台にした映画「鬼ガール！！」に賛同し、「奥河内ムービー・プロジェクト実行委員会」に協賛いたしました。全従業員で情報を共有するため、社内にもくても映画の情報を発信し、ショールーム前にのぼりを設置しました。映画によるまちおこしに期待が寄せられています。



映画ポスター



ショールーム前にのぼりを設置

④ 河内長野市アドプト・ロード・プログラムに賛同

河内長野ガスグループは、河内長野市の掲げる「河内長野市アドプト・ロード・プログラム」に賛同し、「アドプト・ロード・プログラム」と名付けた本社周辺の歩道の清掃活動を全従業員で定期的に行っています。

2019 年度実績

全従業員一斉清掃 6回（5月9日、6月13日、11月21日、12月27日、2月7日、3月6日）



周辺の街路樹の落ち葉拾いや雑草の除去をしました。

⑤ 地元NPO法人様主催セミナーの協力

河内長野ガスグループでは、河内長野のNPO法人様主催の防災や防犯に関するセミナーにおいて、講師の協力と会場の提供を致しました。「防災セミナー」では、「災害時支援施設」である本社社屋を見学いただき、また、「特殊詐欺防犯セミナー」においては、地元警察署の方を講師にお迎えし、河内長野市内で発生している特殊詐欺（オレオレ詐欺等）の発生状況や被害に遭わないための防止対策についてお話いただきました。



テーマは防災や防犯について

⑥ 河内長野ガスグループ将来構想検討委員会

2017年度と2018年度の2年間（計8回）にわたり、学識者、有識者、民間企業代表者及び河内長野市の幹部の方々をメンバーに委員会を開催し、高齢化や人口減少等の河内長野市の諸問題及び河内長野ガスグループ内部の課題や解決策を議論しました。2019年5月21日に委員会において報告書を吟味いただき、11月19日、22日には従業員向けに報告会を行いました。

なお、当委員会を通じて、河内長野ガスグループは地域の活性化や地域課題解決を担う必要のある企業グループであること、これらを実現する新規事業を進めていくこと等を確認しました。また、委員の意見が、後述の「犯罪被害防止対策に関する協定」締結へと実を結びました。



各テーマごとに委員会にて議論された。

⑦ 「犯罪被害防止対策に関する協定」を締結

2019年7月9日、「犯罪被害防止対策に関する協定」の調印式が河内長野市役所3階庁議室にて行われ、河内長野市及び河内長野警察署並びに河内長野ガスグループによる三者協定を締結しました。この協定は、全国に先駆けて三者が相互に協力して、年々増加しているオレオレ詐欺等の特殊詐欺による被害を防止することを目的とするものです。河内長野ガスグループは、河内長野市が高齢者（65歳以上）世帯向けに無償貸出している自動通話録音装置30台を河内長野市に寄贈いたしました。また、この協定に基づき従業員に対して特殊詐欺に関する講習会を開催するとともに、社用車に啓発ステッカーを貼付し、従業員がお客さま宅を訪問する際には注意喚起チラシを配布しています。更にガス展時にはお客さま向けに特殊詐欺防止教室を開催しました。



調印式



防犯ステッカーを貼付した社用車



ガス展での特殊詐欺防犯セミナー

⑧ 地域貢献活動に取り組んでいる従業員を表彰

河内長野ガスグループでは、日頃から従業員の地域貢献活動への参画意識を高めるために、地域において顕著に活躍した従業員を表彰する制度を設けています。



2019年度実績

受賞者 2名

受賞した活動内容

- ・ 共に10年以上地元の地車青年会で活躍
団長経験もあり、その役割を全うした



3. その他の貢献活動

① ガス展の縁日コーナーの売上を寄付

河内長野ガスグループは、毎年、ガス展等のイベントの売上金の一部を各種団体様に寄付しています。

2019年度もガス展(11月1日～3日)では、約4,000名のお客さまが来場され、縁日コーナーでの売上を寄付いたしました。



山本社長と日本ライトハウスの田所所長と盲導犬のアリシアちゃん



日本ライトハウス様からの礼状

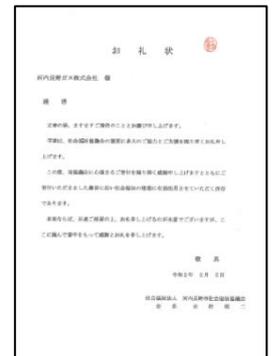
2019年度実績

11月15日 社会福祉法人 日本ライトハウス様

12月4日 河内長野市社会福祉協議会様



山本社長と河内長野市社会福祉協議会の吉村会長



河内長野市社会福祉協議会吉村会長からの寄付に対しての礼状



ガス展での縁日コーナーの風景

② 富田林税務署より優良申告法人として表敬

2019年11月20日、富田林税務署より優良申告法人として表敬されました。これは、2003年、2008年、2013年に続く表敬となりました。優良申告法人とは、税務調査において経営内容が優良で適正な申告と納税がされ、かつ経理処理が特に優良な企業と認定された企業を表敬する制度です。



表敬式

Ⅶ. 働きやすい職場づくり

私たちの約束 4「思いやりと切磋琢磨が交差した働き甲斐のある企業をつくりま



働きやすい職場環境をめざして

私たちは、従業員一人ひとりが仕事を効率化して、生産性をあげ、より高い成果を出すため、働きやすい職場環境をつくっていきたくと考えています。

① 従業員の健康を配慮した取り組み

河内長野ガスグループは、従業員の健康を配慮した取り組みとして、毎朝のラジオ体操の励行やクラブ活動への補助、本社建物内は全面禁煙としています。更に毎年健康診断や従業員のストレスチェック、インフルエンザの予防接種を実施しています。

2019 年度実績

- | | | |
|--------------------|-----|------|
| ・健康診断（4月） | 実施率 | 100% |
| ・ストレスチェック（9月） | 実施率 | 88% |
| ・インフルエンザの予防接種（11月） | 実施率 | 100% |

② 働き方改革の実現に向けて

河内長野ガスグループは、強い組織づくりと従業員が誇りの持てる企業を目指すために、多種多様な意見を取り入れ、ダイバーシティを推進しています。

性別、年齢、障がいの有無、国籍、雇用形態、宗教等に関係なく、差別のない、働くすべての人が活躍できる企業グループを目指します。

河内長野ガスグループでは、働く女性従業員を応援しています。女性管理職が活躍し、毎月開催されるコンプライアンス会議では、女性代表従業員が闊達な意見を述べる等、働きやすい職場環境を実現するため、働き方改革に取り組んでいます。

有給休暇の取得を促進し、勤務時間の管理と時間外勤務の削減を徹底し、従業員のワークライフバランスを進めています。

Ⅷ. コンプライアンスの取り組み

私たちの約束 5 「私たちは法令を遵守し高い倫理観を持って、社会人として責任のある行動をとります。」



私たちの仕事に責任と誇りをもって

私たちは、全ての役員および従業員が、コンプライアンスを確実に遵守することで、地域の皆さまからの信頼を得る健全な会社を目指しています。また、コンプライアンスを法令遵守だけでなく、社会の一員としての良識ある行動までを含む企業倫理の観点から捉え、お客さま、取引先さまなど全ての人々と公正な関係を維持し、信頼をより強固なものとするために努めています。

社員一人一人がコンプライアンスについて意識を高め、地域の皆さまに信頼される企業でありたいと考えています。

2019年度は、コンプライアンスの取り組みの成果もあり、重大なコンプライアンス違反はありませんでした。

① コンプライアンス会議

月に1回、企業法務の専門家である追手門学院大学 教授 水野浩児先生をコンプライアンス担当顧問としてお迎えし、ボードメンバーや社員代表からなるコンプライアンス委員によるコンプライアンス会議を開き、グループ全体のコンプライアンスに関する事案の対策検討、情報、意見交換を行っています。

② コンプライアンスアンケート

全従業員を対象にしたコンプライアンスに関するアンケート調査を定期的実施し、コンプライアンスに関する問題の早期発見に繋がるとともに、全従業員のコンプライアンスへの意識付けをしています。

回答率：2018年度 96% 2019年度 97%

③ コンプライアンス研修会

全従業員を対象に年に1回、水野浩児先生を講師として、従業員や協力会社を対象にコンプライアンス研修会を実施しています。

研修会では、その年のタイムリーなテーマを取り上げ、従業員、協力会社の意識付けを徹底しています。

2019年度実績

7月24日、7月26日 全従業員対象

10月17日 株式会社リビングセンター長野 安全大会 協力会社対象



研修会の様子

④ コンプライアンス相談窓口

河内長野ガスグループでは、コンプライアンスに関する相談及び報告制度として、追手門学院大学 教授 水野先生に直接相談できるコンプライアンス相談ラインを設置しています。

⑤ 地域とともに歩む河内長野ガスの社会貢献活動と SDGs の取り組み

d 河内長野ガスグループの長期ビジョン（あるべき姿）に「地域のお客さまに最も信頼され、支持される企業」が掲げられています。私は河内長野ガスグループとお付き合いさせていただき約 15 年が経過しましたが、長期ビジョンについては全くぶれることなく進んでいることを感じます。

全国的に少子高齢化が進む中、河内長野市も確実にその影響を受けています。これからの時代には相互付与の精神がますます重要となり、地域の公共インフラを担う河内長野ガスグループは、地域の皆様に寄り添った企業でなくてはならないと常日頃から意識しています。2019 年には、河内長野市・河内長野警察と防犯連携協定を提携しました。特殊詐欺などの被害から地域の皆様を守りたい思いから防犯協定が実現し、大阪府下でも注目される取組となりました。このような崇高な理念をもった河内長野ガスグループの取組は、今後ますます活発に行われることと思います。

今回作成した CSR レポートは、河内長野ガスグループが地域とともに歩んでいくことの証であり、これからも地域の為に活躍する決意だと感じています。

レポートに掲げられている「SDGs（エスディー・ジーズ）」は、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015 年 9 月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。一見、地域社会で活躍する河内長野ガスには程遠い印象を受けるかもしれませんが、大きな目標を達成するためには、地域企業が本気で取組むことが重要であり、河内長野ガスグループはインフラ企業として正面から取組んでいます。そのような真面目な取組があるからこそ、地域の方から信頼されることにつながると考えています。また、ESG 課題[環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance)]を正面から捉えることも、インフラ企業として重要なことだと認識しています。

コロナ禍で拡大する地域の皆様の不安解消のために、河内長野ガスグループがお役に立てることは沢山あると感じています。新しい生活様式が浸透する激動の時代において、地域に溶け込む河内長野ガスグループの取組を注目していただければと思います。



追手門学院大学 経営学部学部長 教授 水野浩児